



児童労働ネットワーク(CL-Net)

2010 年度活動・予算計画

2010 年 10 月

2010 年度活動計画

<年間基本方針>

2010 年度で 7 年目を迎え、児童労働ネットワークの活動は主にキャンペーンと政策提言活動を中心に活発化してきた。会員、キャンペーン賛同団体も増え、ネットワークを拡大してきた。

2010 年度は 6 月 12 日の児童労働反対世界デーに合わせたキャンペーンを軸として展開し、アドボカシー活動は、日本政府を中心とした協議の場づくりの実現をめざし、政策提言活動の基礎となる活動を継続して行う。また、2012 年のブラジル会議（予定）へ向けた情報収集や、国際的なネットワークとの連携を強化する。MDGs やアジアを視野に入れた活動を行う。

1. 意識啓発・世論喚起

1-1 児童労働理解促進のためのキャンペーンの実施

継続して、6 月 12 日の児童労働反対世界デーに合わせたキャンペーンを実施する。

実施にあたっては、児童労働ネットワーク会員団体、キャンペーン賛同団体がそれぞれ賛同イベント企画・実施し、それを全体として取りまとめ、広報効果を高める。キャンペーンウェブサイトを活用した情報発信も行う。また、提言活動を促進するための署名活動等、市民参加の企画もあわせて実施する。

1-2 キャンペーン メインイベントの実施

例年通り ILO 駐日事務所、NGO-労働組合国際協働フォーラムと共催で、キャンペーン期間中にメインイベントを実施する。

2. 情報共有・理解促進

2-1 広報活動の強化

リニューアルしたウェブサイトを拡充し、英語情報もあわせて発信できるような形に整える。プレスリリースの発行、メディアへの取材依頼も活動にあわせて可能な限り行う。会員団体のイベントなどを紹介できるような体制を整える。

3. ネットワークの構築

3-1 児童労働ネットワークの参加団体の拡大と活性化

会員団体、及びキャンペーンの賛同団体の拡大を行う。首都圏以外に事務所を構える団体については、参加をしやすい体制整備を行う。会員相互の交流及び児童労働ネットワークの参加団体の拡大と活性化を促す工夫を凝らす。

3-2 国際的なネットワークの構築

Stop Child Labour Campaign、Anti-Slavery International、Global March などの国際的なネットワークや組織との連携を深め、情報交換を行う。2012年に予定されているブラジルでの児童労働世界会議に向け、児童労働ネットワークとしての参加に向けて検討を行う。

4. 政策提言/アドボカシー活動

4-1 日本政府への政策提言

2009年の署名活動の提言内容であったNGOと政府が参加する児童労働に関する協議の場の設定について、意見交換会という形で一度実現した成果を踏まえ、今後これを日本政府を中心とした協議の場づくりとして定例化をめざす。これにより、関係各省の児童労働に関する意識を高め、日本の児童労働問題に対するコミットメントを強めることを目指す。

4-2 研究会

提言を行うための調査研究、及び会員団体の理解促進のために研究会の開催も検討する。

4-3 署名活動

一般市民が広く参加できるような署名活動を行い、政府に具体的な政策の実現も求める。

5. その他の活動

5-1 資金調達活動

ネットワークの活動を持続的に進めていくための資金調達を行う。企業からの寄付も検討する。また、キャンペーン単独で収支が成り立つように、キャンペーンの中でも活動資金の調達を行っていく。

2010 年度予算計画

【収入】	(以下参考)		単位 (円)
科目	2009年度決算	2010年度予算	内訳等
1. 会費収入	418,000	403,000	
(1) 正会員	415,000	400,000	団体会員 1万円×38口 個人会員 5千円×4口
(2) 協力会員	3,000	3,000	個人協力会員 1千円×3口
2. 寄付金収入	8,380	7,775	
3. 事業収入	437,535	400,000	
(1) キャンペーン	272,778	300,000	賛同団体を増やす
(2) イベント、その他	0	0	
(3) 缶バッジ他	164,757	100,000	缶バッジ：卸販売 (300円)、直接販売 (500円)
4. 助成金収入	0	0	
5. その他収入	92	0	
当期収入合計 (A)	864,007	810,775	
前年度からの繰入金	396,226	369,586	
収入合計 (B)	1,260,233	1,180,361	
【支出】	(以下参考)		単位 (円)
科目	2009年度決算	2010年度予算	内訳等
1. 事業費	570,286	440,000	
(1) キャンペーン	319,267	350,000	
(2) 提言活動	0	0	署名用紙のデザイン及び印刷費、外務省などへの働きかけ交通費
(3) 国際ネットワーク連携	0	0	
(4) 資金調達活動	61,059	20,000	缶バッジの台紙の変更など
(5) 参加団体の拡大と活性化	10,000	10,000	会員総会への出席の交通費補助 (5000円×2団体)
(6) 広報活動	179,960	50,000	パンフレット等の作成
(7) イベント・その他	0	10,000	
2. 管理費	318,996	369,775	
(1) 通信費	5,325	8,345	送料
(2) 消耗品費	8,112	10,000	
(3) 印刷費	62,179	108,130	印刷機・コピー機利用代
(4) 事務局運営費	240,000	240,000	20000円×12カ月
(5) ウェブ維持費	3,380	3,300	ドメイン管理料、サーバー代
3. 予備費	1,365	1,000	振込手数料
支出合計 (C)	890,647	810,775	
当期収支差額 (A)-(C)	-26,640	0	
収支合計 (B)-(C)	369,586	369,586	
次年度への繰越金	369,586	369,586	

2010 年度運営委員および運営体制

児童労働ネットワーク内規（運営委員会規定）第 2 条に基づき、正会員団体の中から下記の 9 名を運営委員として推薦する。運営委員の任期は 2 年であるため、任期は 2011 年度までとなる。また、運営委員の中から代表を任命する。事務局は、（特活）ACE が務め、事務局長を配置する。

<2010 年度運営委員>

■運営委員

堀内 光子	文京学院大学大学院特別招聘教授、前国際労働機関（ILO）駐日代表
岩澤 美保	（特活）かものはしプロジェクト
北澤 肯	フェアトレード・リソースセンター
塩田 正行	日本労働組合総連合会（連合）
白木 朋子	（特活）ACE
寺中 誠	（社）アムネスティ・インターナショナル日本
伴野 保志	（特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）
中田 展宏	国際食品労連日本加盟労組連絡協議会（IUF-JCC）
本城 史絵	（特活）グッドネーバーズ・ジャパン

■事務局長

（特活）ACE 岩附 由香

以上

【参考資料】正会員団体・個人（2010年10月時点）

■団体正会員（20団体）

- （特活）アジア日本相互交流センター（ICAN）
- （社）アムネスティ・インターナショナル日本
- （特活）ACE
- （特活）エファジャパン
- （特活）かものはしプロジェクト
- （特活）国際子ども権利センター
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会（IUF-JCC）
- （財）国際労働財団（JILAF）
- （特活）グッドネーバーズ・ジャパン
グローバル・ヴィレッジ
- （社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- （特活）テラ・ルネッサンス
- （特活）ソルト・パヤタス
- （特活）日本オーガニックコットン流通機構
日本労働組合総連合会
働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン
- （特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
UIゼンセン同盟
フード連合
フェアトレード・リソースセンター

■個人正会員（敬称略）（3名）

- 長谷川 真一
- 與座 初美
- 堀内 光子

以上